



2007
APRIL
No.40

大 南

contents

館長エッセイ 宇野 史郎	1
特集：キャンパスライフと図書館	2～3
news news	4～5
シリーズ：利用者サービス⑦	5
informations	6～7
18年度利用統計	7
staff column 矢野 裕子	8
図書館日誌	8

館長エッセイ 春の風物詩

日本列島の季節は、四季折々の変化に富んでいます。なかでも、春は寒い冬から日に日に暖くなり、1年のうちでもっとも気候のよい季節です。

春がいつからかといえば、暦（こよみ）でいう立春あるいは春分の日と、一般的に考えられています。立春は冬と春の分かれる節目の日である節分の翌日で、寒さがあけて春に入る日、つまり春の初日のことをいいます。春分の日はその前後7日間をさす彼岸の中日のことで、「暑さ寒さも彼岸まで」の諺にみられるように、寒さも峠をこして春が訪れる日といわれています。

気候上、春の訪れを告げるのが春一番です。日本海で発達した低気圧に向って、立春後最初に吹く南よりの強風のことをいいます。今年の春一番は2月14日のバレンタインデーだったそうですが、地球温暖化による影響で春の訪れが何時だったのか、実感しえなかったようです。

すでに気象用語として定着している春一番について、その由来を調べてみると、安政6年（1859年）2月13日、五島列島沖に出漁した壱岐郷ノ浦の漁師53人が強い突風にあって遭難してから、郷ノ浦の漁師の間で春の始めの強い南風を、春一または春一

番と呼ぶようになったのが始まりだそうです（「気象の事典」平凡社）。

熊本における春の訪れを告げる風物詩といえば、「くまもと春の植木市」があります。庭木や盆栽など約百万点が並ぶ日本最大級の植木市で、今年も2月1日から3月10日まで場所を変えて開催され、44万人からの人出で賑わいました。この植木市の起源は、今から四百数十年前のことだそうです。当時の隈本（熊本の前身）城主であった城親賢（ちかまさ）が病床にあった子息を慰めるため、おもちゃの木の獅子頭や雉子を作り並べた市（いち）を、城下で開いたことに由来するといわれています。

気候上の季節感が薄れてくるなかで、こうした地域の風物詩はいつまでも残していきたいものです。大学にとっての行事もそうです。春の風物詩は、何といても卒業式と入学式です。春は年度の変わり目、わが学園にとってもさまざまな区切りの季節でもあります。そこには、卒業生を送り出す別れと同時に、新入生との出会いが待っています。その繰り返しのなかから、新しい学園の歴史と伝統が築かれてきたことでしょう。今年も、どんなドラマが演じられるのか、期待しておきたいと思ひます。

宇野 史郎 (うの しろう)

商学部教授
専門：都市流通とまちづくり
平成16年1月から図書館長
「今年は、どんなドラマが演じられるのか、期待しておきたい」



Uno Shirou

図書館の春夏秋冬

—四季折々の楽しみ方は?—

今年も新入生を迎え、一年のうちでいちばん生き生きとした季節がやって来ました。新しい季節の始まりです。移り変わるキャンパスの一年と図書館の行事についてまとめてみました。



4月 APR.

4月は行事がたくさんあります。新入生オリエンテーションでは、図書館紹介のビデオを放映し、図書館の施設・設備や利用の方法をビジュアルに紹介します。時間は約20分です。授業が始まったら、「各種ガイダンス」を毎年実施しています。また、学部生を対象に懸賞論文を募集します。応募締切は例年9月末日。応募要領は図書館のホームページ、学内掲示でお知らせします。



5月 MAY

授業も軌道に乗り、大学生活にもリズムが出てくるころです。授業でレポートの作成が課されることがあります。レポートは自分の力で作成することはもちろんですが、もし、必要な資料や情報が見つからないときにはレファレンスサービスを利用してください。いろいろな資料を探お手伝いをします。2階のレファレンスカウンターを訪ねてください。また、館内のパソコンは資料を使いながらレポートを作成できるので便利です。

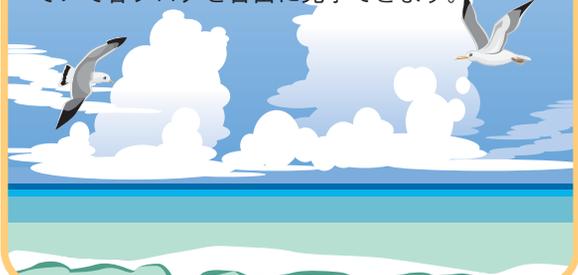


6月 JUN.

梅雨にはいり湿気の多い日が続きますが、館内は空調が効いていて、雨天時のジメジメ感もなく読書に浸ることができます。また、大学生活に慣れてきたら授業の空き時間を利用して、DVDやCDの鑑賞はいかがでしょう。雨を気にすることなく、充実した時間がすごせます。そろそろ、春学期の定期試験も気にかかる頃、早めに準備を始めましょう。

7月 JUL.

学生のみなさんにとっていちばんの関心事は何といっても「春学期定期試験」でしょう。試験が近づくと館内は次第に混み合ってきます。レポートの提出も増えますので、パソコンの利用も順番待ちがよく出ます。定期試験期間前や試験中には貸出冊数・期間や一般利用者の入館に制限が設けられます。また、この時期には受験生を対象にしたオープンキャンパスが開かれます。図書館も見学施設になっていて各フロアを自由に見学できます。



8月 AUG.

8月に入ると長い夏期休業がやってきます。しかし、図書館は休みではありません。お盆休みの休館はありますが、夏期休業の間もほぼ平常どおり開館しています。この期間は長期貸出をしています。貸出期間は約2ヶ月、貸出冊数に制限はありません。本をじっくり読みたい方にはお勧めです。



9月
SEP.



熊本の9月は残暑が厳しいですが、館内は快適です。下旬には秋学期の授業が始まります。授業のウォーミングアップに図書館を利用してはいかがですか。秋学期もスムーズにスタートが切れるはず。月末には懸賞論文の締切を迎えます。応募された論文は厳正な審査を経て各受賞者が決められます。しかし、ここ数年応募者が減少気味です。みなさんの応募を多数お待ちしております。



10月
OCT.

「読書の秋」です。まだ、暑い日もありますが、少しずつ気候も穏やかになり、過ごし易くなります。この時期に図書館実習があります。本学の司書課程履修者のうち、「図書館特論」の履修者が館内での実習を行います。また、10月から11月にかけて学園祭の季節を迎えます。



11月
NOV.

夕暮れも早くなり、ますます「秋」が深まります。暖冬の影響で図書館の前庭の木々も紅葉が年々遅れ気味です。10月から11月にかけてのこの時期に「図書館フォーラム」を開催しています。これまでの「フォーラム」では学外から講師を招いて講演会を実施してきました。毎回、本学学生、教職員のみならず、一般市民の方々にも参加いただいて盛況となっています。

12月
DEC.

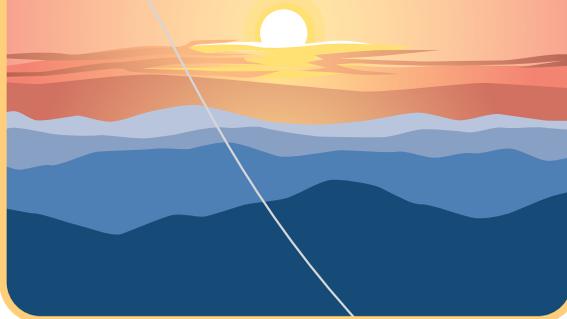


学生懸賞論文の表彰式が行われます。各賞の表彰とともに、入選者のプレゼンテーションも行われます。また、入選以上の論文は翌年2月ころ「学生懸賞論文集」として発行され学内で配布されます。もちろん図書館で閲覧もできます。学生のみなさんは冬期休業に入ります。図書館も年末年始のお休みになります。

1月
JAN.



年が明けると「秋学期定期試験」に向けて、図書館が賑わいます。授業の課題、調べ物、レポートの作成など、連日、たくさんの利用者が訪れます。試験前や期間中は7月同様、グループ学習室を開放しています。



2月
FEB.

秋学期定期試験が終了し、春期休業に入ります。館内は試験期間中の熱気も落ち着き、静けさが戻ってきます。読書に、調べ物に、じっくりと腰を据えて取り組むにはとても良い季節です。この時期には約2ヶ月の長期貸出を行っています。外は寒いですが、窓から差し込む光が次第に暖かく感じられます。

3月
MAR.



卒業生のみなさんには卒業後も図書館を利用することができる「利用者カード」を発行しています。手続きは1階カウンターで受け付けます。在学中に借りた図書や資料は返却して、すっきりした気持ちで新しい生活をスタートさせましょう。

図書館では新年度に向けての準備が始まります。新しい出会いを楽しみに、多くのみなさんの来館をお待ちしています。

平成18年度学生懸賞論文入賞者決定

平成18年度学生懸賞論文は6篇の応募がありました。審査は図書館委員会委員と専門審査委員により行われ、入選2篇、佳作3篇、奨励賞1篇の結果となりました。特選の入賞者はありませんでした。

表彰・賞金授与式は、平成18年12月15日15時から図書館AVホールで行われ、宇野館長をはじめ論文審査にあたった教員、関係者が出席しました。表彰式に引き続き行われた、発表会では、入賞した学生2名が論文を作成するにあたっての問題意識や苦勞などについて、緊張しながらも懸命にスピーチしました。

会場では、今回の表彰者を称える声がたくさん聞かれましたが、「最近応募数が減っていて、寂しい思いがする。もっと奮って応募してほしい。」との感想も聞かれました。

なお、入賞論文（入選2篇）は、「平成18年度学生懸賞論文集」として平成19年2月に発行され、図書館3階研究紀要コーナーで閲覧することができます。また、館内で配布もしておりますので、必要な方は図書館スタッフにお尋ねください。選考結果は次のとおり。

《特選》 該当者なし

《入選》

溝口 早苗（二部商学科3年） 残された資源、よみがえる資源

～リユースの活路と未来へ残すまちの姿～

安武 美奈（経営学科5年） 『女性と仕事』 北欧諸国に見る育児支援

～なぜ、現行の支援では日本の出生率は下がるのか～

《佳作》

内村 幸祐（経済学科3年） 医食同源 ～『食育基本法』を基に生命を育む「食」についての考察～

中川 顕蔵（経済学科3年） 年功序列と成果主義の展開と課題

香月 梨沙（英米学科3年） “The Snow-Image”における家庭の中の「父親」という存在

《奨励賞》

石坂 晴香（国際経済学科2年） NPO ～将来の超高齢化社会を支える偉大な可能性



入選の溝口さん(左)と安武さん

インターンシップ学生受入れ

去る3月8日～9日の2日間、熊本市立総合ビジネス専門学校よりインターンシップ事業で2名の学生（谷口佳奈さん：写真左、滝 由衣子さん）が図書館で就業体験実習を行いました。2人は、本学の各部署で2週間の職場実習を体験するもので、図書館でも例年受入れを実施しています。

実習では、メインカウンターにて図書の貸出・返却業務のほか配架・整理業務、また年度末処理として行っているダンボール箱（250箱）に詰めた新聞資料の移送作業などを職員とともにやり、図書館業務の一端を経験しました。そして、実習を通して多くの図書・雑誌などに触れ、大学図書館に対する認識を新たにしていました。

実習を終えた2人は、「利用者が気持ちよく利用してもらえるように対応することが大切だと思った。」、また「図書が書架に並ぶまで細かい作業があり、忍耐と同時に作業の過程で体力も必要だと感じた。」と職場体験の感想を語っていました。



『資本論』初版本の蒐集

本学図書館にはマルクス『資本論』の初版本があることを知っていますか。実は初版本といってもドイツ語は当然としても、フランス語訳、ロシア語訳、英語訳、と最初の邦訳も揃えています。ロシア語訳と邦訳はこの3月に入手しました。^{【表1】}

【表1】

	刊行年	入手年
ドイツ語版第1部初版	1867	1971
ドイツ語版第1部2版	1872	1953
ドイツ語版第2部初版	1885	1953
ドイツ語版第3部初版	1894	1982
フランス語訳初版	1872	1988
ロシア語訳初版	1872	2007
英語訳初版	1887	1993
邦訳(高島訳、大鏡閣)	1920	2007

ここで『資本論』の成立と刊行について少し解説しますと、『資本論』第1部は、1867年9月の初めにハンプルクで刊行されています(1,000部)。その後マルクスは、一方では『資本論』第1部の翻訳と再版を、他方では『資本論』第2部、第3部の完成を目指しました。このうち翻訳については、ロシア語訳(1872)とフランス語訳(1872)とに携わりました。英語訳はマルクスの死後、エンゲルスの協力のもとになされました(1886)。第1部の再版は1872年に刊行されました。また、第2部、第3部の完成については、マルクスの死後、エンゲ

ルスの手によって行なわれることとなり、第2部「資本の流通過程」は1885年、第3部



「資本主義的生産の総過程」は1894年にそれぞれ刊行されました。

よい機会ですので『資本論』第1部の初版を入手したときのエピソードを、当時の西日本新聞よりご紹介します。^{【注1】}熊本商科大学(現熊本学園大学)が大牟田の古書店より購入することになりましたが、大牟田出身でその古書店主と懇意であった故向坂逸郎氏に縁のある九州大学ではなく、本学であったことが歴史の面白さでしょう。また向坂氏は雑誌『図書』^{【注2】}にも寄稿しています。

図書館は貴重書庫にあるこれらの『資本論』を大学の文化資本としてうまく保存していかないといいません。

【注1】西日本新聞1986年4月26日 キャンパス探訪「マルクスの『資本論』」

【注2】向坂逸郎,1967,「二十一冊目の『資本論』」『図書』岩波書店, 218,p4-5

シリーズ 利用者サービス⑦

マイクロ資料室

マイクロ資料とは図書や雑誌、古文書などの資料を縮小撮影したフィルムで、大量の資料をコンパクトに保存できる省スペース性や劣化しにくく長期の保存性に優れています。図書館3階のマイクロ資料室には、利用の最も多い「営業報告書集成」や「対馬宗家文書」などの国内資料、「ゴードン・W・ブランゲ文庫」「The British critic(雑誌)」などの外国資料、「American Banker」「The New York Times」などの新聞資料など、たくさんのマイクロ資料を所蔵しています。マイクロ資料の利点は、貴重な資料でも容易に利用できる点にあります。所蔵資料については、図書館ホームページ「所蔵資料」のマイクロ資料一覧で確認してください。また、図書と同じように蔵書検索も可能です。マイクロ資料は、マイクロ資料室設置のマイクロリーダープリンターで閲覧・複写することができます。複写については、有料となります。文献複写申込書に必要事項をご記入の上ご利用ください。

マイクロ資料室を利用する場合は、2階レファレンスカウンターにお申し込みください。



学生懸賞論文募集要項

- ◆テーマ：自由論題
- ◆応募資格：本学学生（大学院生・研究生・科目等履修生を除く）
- ◆応募期限：平成19年9月28日（金）17：00
- ◆提出先：図書館1階 カウンター
- ◆審査方法：図書館委員会と専任教員の審査にもとづき、教授会の議を経て決定。
- ◆懸賞金：特選＝賞状および賞金10万円
 入選＝賞状および賞金5万円
 佳作＝賞金2万円
 奨励賞＝図書カード5千円
 ※入賞者(特選・入選)の論文については、「学生懸賞論文集」として発行。
- ◆入賞発表：12月上旬(予定)館内掲示板ならびに、ホームページで発表。
- ◆表彰式：12月中旬(予定)。入賞者(特選・入選)による報告会も開催。

◆応募の注意

- ①応募は、一人一篇(共同執筆も可)とし、未発表の論文とする。
- ②パソコンまたはワープロ(A4用紙)で作成し提出すること。
 ※(和文・中国文・韓国文：1行40字×40行、英文：1行70字×28行)
- ③応募論文は返却しない。
- ④別紙の「平成19年度学生懸賞論文応募票」を添付して提出すること。

◆執筆要領

- ①論文には表紙をつけ、論題のみを記入。なお、表紙は枚数に含まない。
- ②和文：原稿用紙(400字詰め) 8000字～16000字以内
 英文：横書き・ダブルスペースで上記字数に該当する程度。
 中国文・韓国文の場合、上記字数に該当する程度。
- ③著書や新聞等の文献から引用した場合、出典(著者名・タイトル・発行所名・発行年月・頁等)を明記すること。ただし、ホームページ上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記すること。
- ④図表等は枚数に含む。それらを引用した場合、出所を明記すること。

「英園」コーナー誕生

「英園」は本学の図書館1階に新設された最新セクションです。英語の「English Reading Garden」という意味に加え、継続して(「永遠に」)英語に親しんでもらいたいという願いを込めて名付けました。「英園」の主な目的は多読「Extensive Reading」です。

多読は厳選された語彙を使用し、能力レベルで段階付けされた読み物を使用します。昨今、日本でもこのような多読のメソッドが注目されており、SSSアプローチ(Start with Simple Stories)とも呼ばれています。SSSでは、次の3つの原則を多読3原則といっています。

1. 辞書は引かない
2. 分からないところは飛ばして前へ進む
3. つまらなくなったら止める

多読の目標は、どんどんレベルを上げながら100万語読むことです。新しい本を順次追加して行く予定ですので、是非この多読法を試してみてください。SSSの詳細は <http://www.seg.co.jp/ss/learning/index.html> へ



図書館利用者カード発行のお知らせ

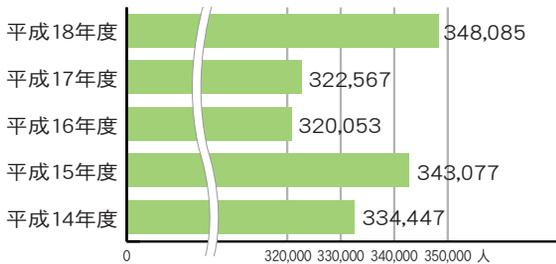
平成19年度の図書館通年利用を希望される方は、以下の要領で図書館利用者カードの発行手続きをお取りください。

- ・**手続期間**：①卒業生ならびに在学生の保護者……平成19年4月～平成20年2月末まで。
 ②上記以外の一般の方……4月～5月、10月 ※②に該当する方は、発行手数料1,000円が必要です。
- ・**受付時間**：月曜日～土曜日 9:00～21:00
- ・**必要書類**：本人の証明と、住所の確認ができるもの（運転免許証・健康保険証・パスポートなど）
 ※卒業生の方で利用者カードをお持ちの方は、手続きの際に必ずご提示ください。
- ・**有効期限**：平成20年3月31日 ※新規で申し込まれたカードは、後日郵送となります。

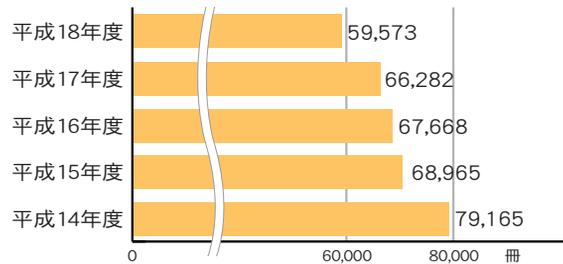
月別入館者数/貸出冊数



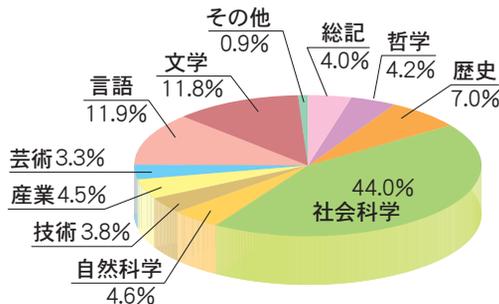
年間入館者数 (5年間比較)



年間貸出冊数 (5年間比較)



分野別貸出比率



学部別一人あたりの貸出冊数



図書館ガイダンスの案内

図書館では新入生を対象とした「図書館ガイダンス」、2年次以上を対象とした「ステップアップガイダンス」を実施しています。充実した大学生活を送るため、この機会に図書館活用法をしっかりとマスターしましょう。

	新入生 (初歩的な図書館の使い方を説明します)	2年次以上 (1年次も含む)
学部学生	<p><図書館オリエンテーション> 実施日: 平成19年4月6日 (金) 時間・場所: 新入生オリエンテーションプログラムを参照 内容: 図書館紹介ビデオ『A Library Story』の上映</p>	<p>※論文やレポート作成のための資料収集、検索を実施します</p>
	<p><図書館ガイダンス> 実施時期: 平成19年4月中旬～6月中旬 時間・場所: 担当の先生から予告があります 内容: 蔵書検索の実習、館内ツアーなど</p>	<p><ステップアップガイダンス> 時期: 5月中旬～ 内容: DVD『情報の達人』の上映、データベースを使った資料収集など 実施形態: 授業科目ごとに実施 (担当の先生から予告があります)</p>
大学院	<p>実施日: 平成19年4月5日 (木) 時間・場所: 午後2時～ 図書館地下AVホール 内容: データベースの紹介、書庫利用法の説明など</p>	<p>図書館2階レファレンスカウンターで随時受付</p>

春です。また、新しい出会いの季節がやってきました。新入生の皆さん、是非、図書館へ足を運んでみてください。もちろん、在学生のみなさんも。現在1階のフロアだけでも、約11万冊の図書があります。分野別に分類番号順に棚にならんでいます。とりあえず、棚を眺めてみることをおすすめします。気になる本があったら、まず、手にとって読んでみてください。何気なく手にした本。それがきっかけで、知らなかったことを知る楽しさを覚え、そこから、また次から次へと色々な興味や疑問がわいてきて、今までと違った自分の世界がどんどんと広がっていくことになるでしょう。たまには、自分の興味や関心のあるものだけでなく、ちょっと難しそうなものにも挑戦してみてください。

かがでしょう。以外とすんなり読むことができ、今まで、眠っていた自分の中の知的好奇心が目覚めるなんてこともあるのでは。1冊の本との出会いが、新しい自分発見につながるのではないのでしょうか。

時間が空いたら図書館へ。レポート作成や論文作成には、1階・2階にあるパソコンを利用して。また静かにひとりで集中して勉強したいときは研究個室で。AVコーナーでは、映画や音楽の視聴もできます。新聞・雑誌・マイクロフィルム等々、図書館の豊富な資料や施設を大いに有効活用してください。わからないことがあったら、気軽に声をかけてください。皆さんとの出会いをスタッフ一同お待ちしております。

奉仕課 矢野裕子

『図書館シネマ』はじめます!!

～映画館のようなAVホールで午後のひと時を過ごしませんか?～

『図書館シネマ』は図書館の地下AVホールにて行う映画上映会です。4月から毎月2回定期的に、お昼休みを利用して開催する予定です。上映内容については、日本図書館協会提供の著作権処理済・上映権付きの資料を使用して、映画を中心に、ドラマやドキュメンタリーを予定しています。参加は無料です。

学生、教職員の皆さんはもちろん、一般の方も多数ご参加いただければ幸いです。

ホール内での飲食はできませんが、快適な空間が皆さんをお待ちしています。

お問い合わせは図書館1階カウンターへどうぞ。



ご来場をお待ちしております(AVホール)

● **編集後記** ●
図書館報は年二回の発行で、コンテンツには毎年同じような内容が並びます。しかし、登場人物や景色は明らかに違います。その違いをマンネリ化することなく伝えることができるか毎回腐心しています。

今年も新入生を迎え、「新たな一年」が始まりました。次回はどんな話題をお知らせできるか、「楽しみな一年」のスタートでもあります。

見学者

18.12.7

大田大学校・大田市平生教育研修団
(韓国)13名

19.1.23

熊本学園大学附属高等学校 16名
順天香大学社会福祉学科訪問団
(韓国) 35名

2.3

在日フランス大使館 3名

2.8

熊本信愛女学院高等学校 90名

2.16

大津高等学校 120名

行事

18.11.6

県図書館関係職員研修会

11.10

私立大学図書館協会
九州地区研究会準備委員会

11.19

休館(推薦入試)

11.20

図書館委員会

12.15

学生懸賞論文表彰式

12.27～19.1.5

休館(年末年始休業)

1.20～21

休館(大学入試センター試験)

1.29

図書館委員会

2.5～3.27

春休み長期貸出

2.8

休館(一般入試A日程)

2.10～13

休館(一般入試A日程)

3.7

休館(一般入試B日程)

3.8～9

市立総合ビジネス専門学校就業体験

3.27

図書館委員会

3.31

休館(年度末整理)

